

日本テレビ IR情報

2006 年度 Vol. 10 2007.02.23

弊社の事業に興味をお持ち頂きありがとうございます。最新の情報をお届けいたします。セールス状況に関する前年比の数値は、管理ベースの数値となりますので、決算発表後前年比の数値の修正が生じる場合がありますことをご了承ください。

【本文章の雑誌、インターネット等への無断転載はお断りいたします。】

[スポットセールス状況]

1月のスポットセールスは、前年同月の104.9%でした。自動車、住宅・不動産関連、薬品、アルコール飲料などの出稿が好調でしたが、金融・保険、運輸・通信は前年を下回る状況でした。

(スポットセールス状況)

2006 年度	前年同月比
10 月	△3.6%
11 月	△8.5%
12 月	△4.5%
1 月	4.9%

[タイムセールス状況]

1月のタイムセールスは、単発番組のセールス合計が昨年を上回ったものの前年同月99.3%でした。

(タイムセールス状況)

2006 年度	前年同月比
10 月	3.4%
11 月	△4.4%
12 月	4.1%
1 月	△0.7%

[番組関連]

4月の番組改編では、プライムタイムにおいて合計9番組10時間の改編を予定しています。その中の2番組が、今期中にスタートとなります。

- ・ 「世界の果てまでイッテQ！」…2月4日より 日曜 20時 <http://www.ntv.co.jp/q/>
- ・ 「今田ハウジング！！」…3月7日より 水曜 20時 <http://www.ntv.co.jp/imada/>

今回の4月改編のポイントは下記の通りです。

- ① 実績、話題性、スタッフなど最も充実している1時間連続ドラマ枠を3本に
- ② 土日にファミリーターゲットのソフトを充実
- ③ 大型単発、新企画開発にトライできる体制
- ④ バラエティ新企画の開始
- ⑤ 地上波だけでなく、BS・CSを含めたオールメディアでの巨人戦中継

[社会貢献活動]

日本テレビはフランス共和国から「グランド・メセナ賞」を受賞しました。「グランド・メセナ賞」は2005年の法令により新設された賞で、メセナ活動およびその関連活動によってフランス国内および外国においてフランス文化の発展に多大な貢献をした個人・法人に授与されるものです。

今回の受賞は日本企業としては初のもので、授与式ではルノー・ドニュエュー・ド・ヴァーヴァル文化・情報省大臣より感謝の言葉とともに表彰状とメダルが授与されました。日本テレビの受賞理由はルーヴル美術館のモナ・リザ展示室の新設、ミロのヴィーナスの展示環境改善プロジェクトへの貢献、ニースのロスチャイルド美術館の日本庭園造営、マルモッタン美術館展開催などフランス文化全体の発展に対する貢献とともに、ヴァチカン市国シスターナ礼拝堂のミケランジェロ壁画修復事業など、長年にわたるヨーロッパ文化の保護活動への貢献に対するものです。

今後とも世界の貴重な文化財への保護に強い関心を持ち、企業としての社会的貢献を果たしたいと願っています。

以上
経営計画室 IR 部